

取扱説明書 (帽子取付用)

- この度は当社製防じんメガネ・しゃ光メガネをお買い上げ頂き、お礼申し上げます。
防じんメガネ・しゃ光メガネを使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上
使用して下さい。【この説明書は読んだあと大切に保管して下さい。】
- 疑問や不明な点がございましたら、裏面の当社消費者相談室までご連絡下さい。
- この説明書を紛失した場合も同室までご請求下さい。
- 防じんメガネは浮遊粉じん、薬液飛沫、飛来物等から、しゃ光メガネは有害光線及び浮遊粉じん、薬液
飛沫、飛来物等から眼を保護する為に使用するものですが、絶対的に安全性を保障するものではありません。
使用にあたっては、最大限の注意を払い、常に安全な作業に努めて下さい。
- No.1400シリーズは眼を保護することはできませんが、顔面を保護することはできません。顔面保護
が必要な作業では、No.1170・No.1175シリーズ（フェースシールド）をご使用下さい。



注意

使用方法を間違えると眼に重大な障害を及ぼします。

- (1) No.1400-C・No.1400-Y・No.1400-LG
赤外線が発生する場所では、絶対に使用しないで下さい。
- (2) しゃ光メガネ共通 (No.1400-G・No.1400-DB・No.1400-B)
 - ①裏面の「取付方法」により、レンズ位置を調節して下さい。
※有害光線が流入し、眼に障害を及ぼす恐れがあります。
※眼に異常を感じたら、直ちに使用を中止して下さい。
 - ②長時間溶接作業を行うと、顔面が焼ける場合があります。
長時間溶接作業を行う場合、No.1170・No.1175シリーズ（フェースシールド）をご使用下さい。
 - ③1400-G（しゃ光メガネ しゃ光度#4）
このしゃ光メガネは、しゃ光度#4（標準）です。しゃ光度#4の使用範囲を超えた作業環境では
絶対に使用しないで下さい。
 - ④1400-DB（しゃ光メガネ しゃ光度#8）
このしゃ光メガネは、しゃ光度#8（標準）です。しゃ光度#8の使用範囲を超えた作業環境では
絶対に使用しないで下さい。
 - ⑤1400-B（しゃ光メガネ しゃ光度#11）
このしゃ光メガネは、しゃ光度#11（標準）です。しゃ光度#11の使用範囲を超えた作業環境では
絶対に使用しないで下さい。
- (3) No.1400-C・Y・LG・G・DB・B共通
 - ①レンズや差し込み具にキズ、ヒビ割れ、欠け、変形等のある場合は、絶対に使用しないで下さい。
 - ②レンズ取付けネジが緩んでいないか、必ず使用前に点検して下さい。緩んでいる時は、締めて下さい。
 - ③調整金具の損傷、又はネジが緩んでいる場合は、絶対に使用しないで下さい。
 - ④大きい衝撃のある飛来物があると予測される作業には、防災面と併用して下さい。
 - ⑤化学薬品取扱作業では、顔全体を保護する防災面と併用して下さい。
 - ⑥改造、修理等は事故の原因になり、大変危険です。絶対にしないで下さい。
 - ⑦レンズにシンナー等の溶剤が付着した場合は、衝撃強度が低下すると考えられますので飛来物の
ある作業には使用しないで下さい。
 - ⑧一度でも強い衝撃を受けた防じんメガネ・しゃ光メガネは新しいものに取換えて下さい。
 - ⑨レンズ外側より粉じんが流入するような場合は、用途にあった防じんメガネをお選び下さい。
 - ⑩長期間使用していると各部に緩みが生じることがあります。点検し、使用して下さい。
 - ⑪レンズを使用したまま動きの激しい作業を行うと、レンズが揺れて気分が悪くなる恐れがあります。
特に高所作業では墜落の危険がありますので、十分に注意して使用して下さい。

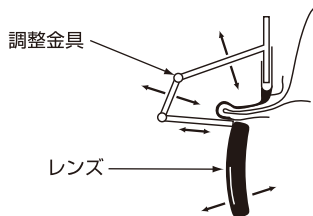
保管

- ①メガネは、丁寧に扱って下さい。
- ②メガネの上に重いものは置かないで下さい。
- ③車内、車のトランク等、高温（50℃以上）になる場所に置いたり、保管しないで下さい。
- ④キズがつき易い場所に保管しないで下さい。
- ⑤メガネは、手入れをしてから保管して下さい。

取付方法

- ①差し込み具をひさしに差し込み、調整金具及びレンズを動かして、眼とレンズの距離をできるだけ近づけ、レンズ角度も調節して下さい。
※レンズが眼から離れている場合
 - ・レンズ周囲より、粉じんが流入しやすくなります。
 - ・有害光線がレンズ周辺より流入しやすくなります。
 - ・後ろの物体が写り込み、気分が悪くなる場合があります。
- ②調整金具のナットは緩めにしています。ナットの締め具合を調整し、作動の固さを調節して下さい。
- ③ひさしの厚みにより差し込み具合が緩い場合があります。紙等の詰め物をはさんで緩まないようにして下さい。
- ④使用しない時は、帽子の上部に巻き上げて下さい。

■目とレンズの距離調節



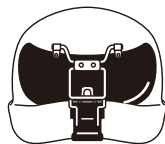
■差し込み具の調節



手入れ

- ①常にレンズや調整金具はきれいにして下さい。
- ②レンズを汚れた布や手袋等で拭かないで下さい。（キズがつき易い）
- ③鉄粉や粉じんを含んだ布等で拭かないで下さい。（キズがつき易い）
- ④汚れは、ぬるま湯か薄めた中性洗剤で洗い、きれいな柔らかい布で軽く拭いて下さい。汚れがとれない場合は、新しいものと取換えて下さい。
- ⑤熱湯及びシンナー等の溶剤では、絶対に拭かないで下さい。（性能が低下します。）

■使用しない時



消毒方法

市販の塩化ベンザルコニウム、10w/v%水溶液を150～200倍の水で薄め、消毒液として使用して下さい。

- ①消毒液にメガネを約10分間浸漬します。
- ②メガネに付いた消毒液を水道水でよく洗い流し、柔らかい布等で拭いて下さい。くもり止め加工したアイピース（レンズ）は、強くこすらずに柔らかい布等で軽く押さえて水気を取るようになって下さい。（性能が低下し、キズがつき易いため）
- ③一度使用した消毒液は再使用せず、破棄して下さい。

【発売元】 株式会社 トヨセフティ

兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園
URL : <http://www.toyo-safety.co.jp>

消費者相談室 TEL.0794-83-0155

日本保護メガネ工業会会員

【製造元】 東洋物産工業株式会社